

雲丹の活動日記

今月の雲丹（うんたん）の活動

2月2日(月)に、むつ税務署でe-Taxを模擬体験してきました。e-Taxはウェブ上で行なうことの出来る確定申告で、雲丹（うんたん）はイベント出演料をもらったと仮定して模擬体験してきました。ほかにムチュランなどが会場に来て、一緒にe-Taxについて勉強していました。

2月22日(日)は、「アルサス杯争奪！芸能・カラオケ・踊りの大選手権」に出場し、雲丹（うんたん）のテーマソングである「Let's go うんたん！」を踊りました。踊りを披露した後、2月16日(月)で誕生日を迎えた雲丹（うんたん）は、来場者のみなさんからバースデイソングを歌ってもらい、お祝いをしてもらいました。



e-Taxを模擬体験する雲丹（うんたん）

あおい環プロジェクト事務局(地域おこし協力隊)からのお知らせ

• わかめの収穫体験に参加しませんか？

3月28日(土)に、弁天わかめオーナーのわかめ収穫体験があります。これまではわかめオーナーや村内の小学生を対象に行ってきましたが、今回から村民も体験できることになりました。料金は2,500円で昼食付きです。また小学生は無料になります。

地域の産業について漁師さんから直接学ぶことの出来る機会でもありますので、ぜひ参加してみてください。

詳細や申し込みについては地域おこし協力隊村木（☎38-4515）までご連絡ください。

• あおい環プロジェクトの取り組み拡大のために旅行業登録を行いました

佐井村では、あおい環プロジェクトの一環として、さまざまな体験型観光プログラムを実施しています。

その取り組みをいっそう充実させるために、新しく「一般社団法人くるくる佐井村」を設立し、青森県知事の認可を得て地域限定旅行業の登録を行いました。下北地方では初の登録となります。

今後は、自ら企画して交通や宿泊を伴うツアーを企画することができるようになります。今後ともみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

【お問合せ】地域おこし協力隊 園山 ☎33-0014

• 「下北半島食べる通信」を発刊します

下北半島の食の魅力を発信する「下北半島食べる通信」を発行します。

この情報誌は、食べ物に関する情報誌に加えて、実際に食べ物をセットにして読者に届けるという変わった仕組みの定期購読情報誌です。1号あたり3,200円(税・送料込)で、年4回発行します。

この取り組みは全国で広がっている取り組みで、漁業や農業の現場について、より深く知ってもらい、交流を促進することを狙いとしています。青森県では佐井村から発信するこの「下北半島食べる通信」が初の発刊となります。

3月号で風間浦村、6月に佐井村の特集号を発行する予定にしています。

ホームページ：<http://taberu.me/shimokita/>

【お問合せ】地域おこし協力隊 園山 ☎33-0014

今月のアピオス

《昨年末に収穫されたアピオスが販売中です》

11月に収穫し、寒ざらしによって糖度が上がったおいしいアピオスが、手づくりマートなどで販売されています。

アピオスは、収穫してから販売までに、寒ざらし→洗浄→選別といった作業があります。アピオスは土の中にできるイモですから、洗うのも大変な作業です。ネットに入れて粗く踏み洗いをし、そのあと再度丁寧に洗うという二段階で洗っています。アピオスの栽培は下北中に拡大中ですが、佐井村の農家の作業は丁寧だと評判です。



第一段階の踏み洗い